説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日 月 月 日 月 Н 月 月 В Н 手術3日前 経渦 手術2日前 手術前日 当日(術前) 当日(術後) 術後1日目 (入院日) 術後合併症を起こさない 心身ともに安定した状態で手術を受けられる (出血、深部静脈血栓症、肺炎、 治療に対する不安を表出できる 縫合不全、感染、腸閉塞) 目標 合併症予防のための リハビリ(歩行訓練、 呼吸訓練)が行える 身長、体重測定 採血 採血 検査 朝から絶食 ※朝食は 朝より流動食 朝より 絶食(水分は (水、茶、スポーツドリンク可) ご自宅で 医師の指示で 水分制限なし 食 21 時以降絶飲食 再開) 経口補水液は、麻酔科の指示で服用 事 Ħ 8 甘 弾性ストッキングの 手術後以下の リストバンドを 朝 浣腸 サイズを測定し、 します 挿入物、装着物が 装着します お渡しします あります (退院日まで) 酸素マスク ▶取り外します 臍処置します ➡明になれば、 ・心電図モニター →取り外します 処 (シャワー浴前) ▋看護師が 点滴の管 -手術室にご案内 背中のチューブ (鎮痛剤) 置 お腹の管 します ・ 尿の管 観 フットポンプ. ▶ 取り外します (血栓予防) 創部の観察処置を 行います 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります ✓ 以下の服用が / 持参薬、 腸蠕動促進 あります 薬を服用 お薬手帳を ・昼 250m I の下剤 します 看護師に 注 夕 抗菌薬 お渡し 射 • 眠前 下剤、抗菌薬 ください 血栓予防薬 員 以下を を皮下注射 内 タ 下剤を 点滴します します 服 服用します 持続点滴 • 抗菌薬 鎮痛剤 以下の手術準備をします ♀シャワー浴できます(週 3 回、 シャワー浴 🖪 午前中 ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリー、時計等の (T) 行 △病棟毎で日が異なります) 洗髪をします 動 全身清拭し、手術 着からパジャマ IJ 取り外し に着替えます 翌朝まで 付き添いのも 制限ありません とリハビリを ベッド上安静 です 開始します 医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時) 医師より説明 手術の結果について 治療計画について 手術について 麻酔について 🕰 看護師より説明 説 팣 病棟・手術室看護師より説明 ・術後の注意点について 睭 ・入院生活について(パスシートを使用) 安静について 手術について ・痛み止めの使用方法について 薬剤師より説明 持参薬確認 使用薬剤について

## \*入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

- \*入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。
- \* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
- \*この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。 							
月日	月日	月日	月 日~ 月	日	月日	3~ 月	B
経過	術後2日目	術後3日目	術後4~5日目	後4~5日目 術後6~8日目(退院日)			
目標	術後合併症を起こさない(出血、深部静脈血栓症、肺炎、縫合不全、感染、腸閉塞) 合併症予防のためリハビリ(歩行訓練、呼吸訓練)が行える 排便コントロールが図れる 退院後の日常生活上の注意点が 述べられる						
検査							
食	朝より流動食開始	リ流動食開始 朝より全粥食 朝より常食			退院日は朝食のみ		
事	र्च च						
処 置・観 察	以下の挿入物があります - 点滴の管 → 点滴が不要となれば抜去します - 背中のチューブ (鎮痛剤) → 術後 2~3 日で抜去します - 創部の管 → 状況をみて術後 3~7 日で抜去します - 尿の管 → 術後 2~3 日で抜去します					ストバンドをダ	します
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります						
	以下を服用が あります ・腸蠕動促進薬 ・鎮痛剤			<b>†</b> †	以下の退院処方があります ・下剤 ・鎮痛剤		
注 射 内 服	が を 変 変 変 変 で 変 で で で で の を の の の に の に に の に の の の の の の の の の の の の の	朝、夜 <u></u> 血栓予防薬を 皮下注射します			→ 術後6日	目まで	
/IIX	以下の点滴を 行います ・朝、夕点滴 ——— ・鎮痛剤	→ 徐々に点滴量が					
行 動 •	状況に合わせて、看護師が全身清拭、洗髪、足浴します				②前 創部の治癒状況に合わせて シャワー浴を再開します (週3回、病棟毎で日が異なります)		
リハビリ	リハビリを継続します				(退院日) 朝食後退院です		
	医師より説明 ・退院後の療養計画、療養上の留意点について						
朗明	看護師より説明 ・退院後の療養生活について (退院療養計画書をお渡しします)  (退院療養計画書をお渡しします)						
	栄養士より説明 ・退院後の食事について						

## 手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された <u>術後疼痛管理チーム(APS)チーム</u>が、患者さんの傷の痛みに対し て、手術前から計画を立て、<u>傷の痛みが軽減するよう</u>取り組んでま いります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale):痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

● 手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください



APS チームがサポートします。 よろしくお願いします。

